



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ 上場取引所 東
 コード番号 6324 URL <http://www.hds.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長井 啓
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 上條 和俊 (TEL) 03-5471-7810
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	39,622	80.9	10,386	76.6	10,130	70.8	6,017	42.9
29年3月期第3四半期	21,906	6.4	5,883	4.4	5,931	2.7	4,210	13.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 14,308百万円(297.2%) 29年3月期第3四半期 3,601百万円(195.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	65.70	—
29年3月期第3四半期	45.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	106,049	69,571	63.0
29年3月期	87,734	57,400	62.7

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 66,818百万円 29年3月期 55,000百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
30年3月期	—	12.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	14.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	53,000	76.3	13,000	66.4	12,800	60.8	7,800	△60.5
								84.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

連結業績予想の「1株当たり当期純利益」は、平成30年1月29日の公募等による新株式発行及び自己株式の処分の影響を考慮しております。なお、オーバーアロットメントに関連して行われる第三者割当増資により、平成30年2月28日に普通株式が発行されることがありますが、当該影響については考慮していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	94,749,300株	29年3月期	94,749,300株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	3,152,193株	29年3月期	3,152,193株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	91,597,107株	29年3月期3Q	91,597,107株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10
3. 補足情報	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12
(2) 海外売上高	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの事業環境は、製造業の自動化・省力化を目的とした設備投資の旺盛な需要を受け、米国、欧州、日本や中国をはじめとするアジア諸国を中心に良好に推移しました。

用途別の売上高につきましては、スマートフォンや家電製品、自動車などの生産ラインで稼働する産業用ロボット向けが大幅に増加しました。また、産業用機器、車載、メモリー、通信機器向けデバイス製品の需要増加を背景とした設備投資が高水準で推移したことから半導体製造装置向けも増加しました。加えて、スマートフォンや高精細TV向けなど液晶パネル、有機ELパネルの増産投資が良好であったことからフラットパネルディスプレイ製造装置向けも増加しました。

さらに、平成29年3月に持分法適用会社であったドイツ国のハーモニック・ドライブ・アーゲーを買収し子会社化したことにより、同社の売上高が当社グループの連結売上高として計上されたことも前年同期比で増収の要因となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比80.9%増加の396億22百万円となりました。

損益面につきましては、需要の増加に応えるため生産能力の増強投資を実行したことによる減価償却費の増加に加え、製造部員を増員したことにより人件費が増加しましたが、売上高の増加による増益効果が上回り、売上総利益は前年同期比85.8%増加の190億15百万円となりました。また、営業利益につきましても、ハーモニック・ドライブ・アーゲーの子会社化に伴うのれん償却負担の増加や売上高の増加により販売費及び一般管理費が増加しましたが、売上総利益の増益により、前年同期比76.6%増加の103億86百万円となりました。経常利益も支払利息や為替差損の増加により営業外費用が増加したものの、営業利益の増益により前年同期比70.8%増加の101億30百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益も前年同期比42.9%増加の60億17百万円となりました。

なお、製品群別の売上高は、減速装置が324億43百万円（前年同期比85.2%増）、メカトロニクス製品が71億78百万円（前年同期比63.5%増）で、売上高比率はそれぞれ、81.9%、18.1%となりました。

報告セグメントの業績は、以下のとおりであります。

(日本)

産業用ロボット向け、半導体製造装置向け、フラットパネルディスプレイ製造装置向け、モーターメーカー向けギアヘッドなど主要用途全般が増加したことにより、売上高は前年同期比38.6%増加の256億98万円となりました。セグメント利益（経常利益）は、前年同期比58.4%増加の104億50百万円となりました。

(北米)

医療機器向け、半導体製造装置向けの需要が増加した影響を受け、売上高は前年同期比18.0%増加の39億70百万円となりました。一方、セグメント利益（経常利益）は、販売費及び一般管理費が増加したことにより、前年同期比0.1%減少の5億36百万円となりました。

(欧州)

主に産業用ロボット向け、半導体製造装置向けの需要が増加したことなどから良好な事業環境となりました。また、持分法適用会社であったハーモニック・ドライブ・アーゲーを子会社化した影響により、売上高は99億53百万円、セグメント利益（経常利益）は、前年同期比95.3%増加の8億64百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて183億15百万円増加（前連結会計年度末比20.9%増）し、1,060億49百万円となりました。これは、売上高の増加に伴い受取手形及び売掛金が48億44百万円増加（前連結会計年度末比44.8%増）、保有する関係会社株式の時価の上昇により投資その他の資産が47億83百万円増加（前連結会計年度末比40.6%増）したことに加え、設備投資の実行により有形固定資産が37億55百万円増加（前連結会計年度末比25.6%増）したことが主な要因です。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて61億44百万円増加（前連結会計年度末比20.3%増）し、364億78百万円となりました。これは、短期借入金が20億1百万円増加（前連結会計年度末比13.3%増）したことに加え、繰延税金負債が15億1百万円増加（前連結会計年度末比56.6%増）したことが主な要因です。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末比で121億71百万円増加（前連結会計年度末比21.2%増）し、695億71百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が45億75百万円増加（前連結会計年度末は△6億11百万円）、利益剰余金が40億2百万円増加（前連結会計年度末比8.7%増）したことに加え、保有する関係会社株式の時価の上昇によりその他有価証券評価差額金が32億57百万円増加（前連結会計年度末比61.8%増）したことが主な要因です。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の62.7%から63.0%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年11月9日に発表しました「平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の数値に変更はありません。今後、変更が必要と判断した場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,039,904	11,899,102
受取手形及び売掛金	10,813,395	15,657,571
有価証券	56,856	55,364
商品及び製品	682,988	688,061
仕掛品	1,552,776	2,691,811
原材料及び貯蔵品	1,492,515	2,289,246
その他	1,112,025	1,318,532
貸倒引当金	△13,712	△13,195
流動資産合計	27,736,750	34,586,495
固定資産		
有形固定資産	14,644,599	18,400,248
無形固定資産		
のれん	33,338,073	36,146,094
その他	231,296	349,919
無形固定資産合計	33,569,369	36,496,013
投資その他の資産		
投資有価証券	668,699	882,309
関係会社株式	9,775,564	14,272,801
退職給付に係る資産	933,968	950,598
繰延税金資産	244,516	304,395
その他	166,578	162,322
貸倒引当金	△5,600	△5,600
投資その他の資産合計	11,783,726	16,566,827
固定資産合計	59,997,695	71,463,089
資産合計	87,734,445	106,049,584
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,673,078	3,200,816
短期借入金	15,025,509	17,026,579
1年内返済予定の長期借入金	191,448	293,112
未払法人税等	1,599,892	1,986,746
賞与引当金	1,040,106	947,441
役員賞与引当金	297,393	316,842
製品補償損失引当金	99,978	96,179
その他	2,356,668	2,917,228
流動負債合計	23,284,075	26,784,946
固定負債		
長期借入金	449,270	1,245,270
繰延税金負債	2,651,636	4,153,456
役員退職慰労引当金	1,118,900	1,190,744
その他の引当金	73,188	86,568
退職給付に係る負債	75,978	86,427
その他	2,681,103	2,930,764
固定負債合計	7,050,078	9,693,231
負債合計	30,334,153	36,478,178

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,610,542	1,610,542
資本剰余金	5,203,709	5,203,709
利益剰余金	45,884,068	49,886,897
自己株式	△2,305,055	△2,305,055
株主資本合計	50,393,265	54,396,094
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,267,904	8,525,133
為替換算調整勘定	△611,107	3,964,278
退職給付に係る調整累計額	△49,523	△67,284
その他の包括利益累計額合計	4,607,272	12,422,127
非支配株主持分	2,399,753	2,753,184
純資産合計	57,400,291	69,571,406
負債純資産合計	87,734,445	106,049,584

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	21,906,924	39,622,090
売上原価	11,674,679	20,606,484
売上総利益	10,232,244	19,015,606
販売費及び一般管理費	4,349,232	8,628,970
営業利益	5,883,012	10,386,635
営業外収益		
受取利息	6,896	12,631
受取配当金	79,718	117,223
持分法による投資利益	90,096	24,187
その他	34,012	139,188
営業外収益合計	210,724	293,230
営業外費用		
支払利息	4,849	22,249
売上割引	343	21,603
為替差損	140,136	462,996
その他	16,649	42,123
営業外費用合計	161,979	548,973
経常利益	5,931,757	10,130,892
特別利益		
固定資産売却益	64	2,182
補助金収入	-	100,000
特別利益合計	64	102,182
特別損失		
固定資産売却損	-	17
固定資産除却損	16,223	8,577
固定資産圧縮損	-	100,000
役員退職特別加算金	29,280	-
特別損失合計	45,503	108,594
税金等調整前四半期純利益	5,886,318	10,124,480
法人税、住民税及び事業税	1,763,303	3,735,468
法人税等調整額	△246,877	△53,402
法人税等合計	1,516,426	3,682,066
四半期純利益	4,369,892	6,442,413
非支配株主に帰属する四半期純利益	159,096	424,448
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,210,795	6,017,965

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	4,369,892	6,442,413
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	546,992	3,257,228
繰延ヘッジ損益	△180,397	-
為替換算調整勘定	△861,125	4,630,714
退職給付に係る調整額	△43,371	△21,845
持分法適用会社に対する持分相当額	△230,044	-
その他の包括利益合計	△767,946	7,866,097
四半期包括利益	3,601,946	14,308,511
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,751,576	13,832,819
非支配株主に係る四半期包括利益	△149,630	475,691

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	北米	欧州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,543,432	3,363,491	—	21,906,924	—	21,906,924
セグメント間の内部売上高 又は振替高	920,303	681	—	920,984	△920,984	—
計	19,463,736	3,364,172	—	22,827,908	△920,984	21,906,924
セグメント利益	6,595,407	536,991	81,894	7,214,292	△1,282,535	5,931,757

- (注) 1. セグメント利益の調整額△1,282,535千円には、セグメント間取引消去△480,423千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△802,111千円が含まれております。全社費用は、基礎的試験研究費、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
2. 「日本」には、日本国内向けのほか、欧州向け(欧州セグメントを構成する持分法適用会社向け)、アジア地域向け等に係る売上高及び費用が含まれております。
3. 「欧州」は、持分法適用会社で構成されているため、当該セグメント利益は、持分法投資利益を記載しております。
4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	北米	欧州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,698,775	3,970,044	9,953,290	39,622,090	—	39,622,090
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,076,146	20,151	71,848	3,168,146	△3,168,146	—
計	28,774,902	3,990,196	10,025,139	42,790,237	△3,168,146	39,622,090
セグメント利益	10,450,094	536,555	864,232	11,850,881	△1,719,989	10,130,892

- (注) 1. セグメント利益の調整額△1,719,989千円には、セグメント間取引消去△639,926千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,080,063千円が含まれております。全社費用は、基礎的試験研究費、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
2. 「日本」には、日本国内向けのほか、欧州、アジア地域向け等に係る売上高及び費用が含まれております。
3. 「欧州」は、持分法適用会社で構成されておりましたハーモニック・ドライブ・アーゲーが平成29年3月22日付で連結子会社となったため、第1四半期連結会計期間から同社に係る売上高及び利益を記載しております。
4. 欧州セグメントのセグメント利益は、ハーモニック・ドライブ・アーゲーの株式取得によるのれんの償却額△1,341,391千円を控除しております。
5. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

新株式の発行、自己株式の処分及び株式売出し並びに新株予約権の発行

当社は、平成30年1月5日開催の取締役会において、公募及び第三者割当てによる新株式発行、自己株式の処分及び当社株式の売出し並びに第三者割当てによる新株予約権の発行に関する決議を行い、下記1.及び2.の新株式発行、自己株式の処分につきましては平成30年1月29日付、下記6.の新株予約権の発行につきましては平成30年2月6日付で全額の払込を受けております。

1. 公募等による新株式発行

(1) 募集株式の種類及び数	普通株式1,566,100株
(2) 発行価格	1株につき7,322円
(3) 発行価格の総額	11,466,984,200円
(4) 払込金額	1株につき7,010.4円
(5) 払込金額の総額	10,978,987,440円
(6) 増加する資本金及び資本準備金の額	増加する資本金の額5,489,493,720円 増加する資本準備金の額5,489,493,720円
(7) 払込期日	平成30年1月29日

2. 公募等による自己株式の処分

(1) 募集株式の種類及び数	普通株式3,100,000株
(2) 処分価格	1株につき7,322円
(3) 処分価格の総額	22,698,200,000円
(4) 払込金額	1株につき7,010.4円
(5) 払込金額の総額	21,732,240,000円
(6) 払込期日	平成30年1月29日

3. 当社株式の売出し（引受人の買取引受けによる売出し）

(1) 売出価格	1株につき7,322円
(2) 売出価格の総額	10,250,800,000円
(3) 引受価額	1株につき7,010.4円
(4) 引受価額の総額	9,814,560,000円
(5) 受渡期日	平成30年1月30日

4. 当社株式の売出し（オーバーアロットメントによる売出し）

(1) 売出株式数	333,900株
(2) 売出価格	1株につき7,322円
(3) 売出価格の総額	2,444,815,800円
(4) 受渡期日	平成30年1月30日

5. 第三者割当てによる新株式発行

(1) 払込金額	1株につき7,010.4円
(2) 払込金額の総額	上限 2,340,772,560円
(3) 増加する資本金及び資本準備金の額	増加する資本金の額1,170,386,280円 増加する資本準備金の額1,170,386,280円
(4) 払込期日	平成30年2月28日

(注) オーバーアロットメントによる売出しに関連して行うSMBC日興証券株式会社を割当先とする当社普通株式の第三者割当てによる新株式発行であります。なお、上記新株式発行数は上限を示したものであります。

6. 第三者割当による新株予約権の発行

(1) 割当日	平成30年2月6日
(2) 払込期日	平成30年2月6日
(3) 発行新株予約権数	12,619個
(4) 発行価額	本新株予約権1個あたり49,569円 (本新株予約権の払込総額625,511,211円)
(5) 資金調達額	9,795,143,011円(差引手取概算額)
(6) 当初行使価額	7,322円

7. 資金の使途

①グローバル・オフアリング

公募等による新株式発行及び公募等による自己株式の処分並びに本第三者割当増資による手取概算額合計上限34,932,000,000円については、15,000,000,000円を平成30年3月までに金融機関から借り入れた短期借入金の返済資金に、残額を平成32年3月までに生産能力増強に向けた設備投資資金に充当する予定であります。

当該短期借入金は、欧州市場の基盤をより強固にすることを目的に、平成29年3月に株式の追加取得により子会社化した、ドイツ国に拠点を置くハーモニック・ドライブ・アーゲーの株式取得のために調達したものであります。

生産能力の増強に向けた設備投資の具体的な内容としては、精密減速機の生産能力増強に向けた穂高工場（第1工場）及び有明工場（第2工場）の設備投資並びに米国子会社における新工場物件の取得、クロスローラーベアリングの生産能力増強に向けた新工場（松本工場）棟建設並びにメカトロニクス製品の生産能力増強に向けた新工場（駒ヶ根工場）棟建設を予定しております。なお、米国子会社における新工場物件の取得に係る設備投資資金については、当社からの融資を通じて充当する予定です。

②並行第三者割当

本新株予約権の払込金額の総額と本新株予約権の行使に際して出資される財産の価額の合計額を合わせた手取概算額9,795,143,011円について、8,000,000,000円を平成32年3月までに有明工場（第2工場）の建物及び新工場棟建設資金に、残額が生じた場合は平成32年3月までに研究開発資金に充当する予定であります。ただし、本新株予約権の行使による払込みの有無と権利行使の時期は新株予約権者の判断に依存し、また本新株予約権の行使価額は行使期間の最終日に修正されるため、現時点において調達できる資金の額及び時期は確定したのではなく、現時点において想定している調達資金の額及び支出予定時期に差異が発生する可能性があります。

なお、本新株予約権の行使による資金調達ができない場合には、自己資金・借入金等代替資金調達手段により充当する予定であります。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年12月31日）における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		生産高（千円）	前年同期比（%）
日本	減速装置	24,166,968	51.0
	メカトロニクス製品	4,251,553	20.6
北米	減速装置	1,766,921	20.8
	メカトロニクス製品	900,870	7.9
欧州	減速装置	6,092,166	—
	メカトロニクス製品	2,002,436	—
合 計		39,180,916	79.5

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記金額は販売価格により表示し、消費税等は含まれておりません。
 3. 当社グループの報告セグメントは、所在地別（日本、北米、欧州）に区分しております。当連結会計年度より欧州セグメント実績を追加しているため、前年同期との比較は表示しておりません。
 4. 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。
 5. 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ウィンベルの生産実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。

② 受注実績

当第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年12月31日）における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		受注高（千円）	前年同期比（%）	受注残高（千円）	前年同期比（%）
日本	減速装置	40,279,226	155.1	26,662,317	622.0
	メカトロニクス製品	3,896,586	17.6	1,795,253	111.2
北米	減速装置	3,376,963	57.5	1,987,255	122.9
	メカトロニクス製品	2,301,069	73.7	1,245,472	195.5
欧州	減速装置	9,258,501	—	4,150,911	—
	メカトロニクス製品	3,406,688	—	1,694,385	—
合 計		62,519,036	176.9	37,535,593	541.0

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 当社グループの報告セグメントは、所在地別（日本、北米、欧州）に区分しております。当連結会計年度より欧州セグメントを追加しているため、前年同期との比較は表示しておりません。
 4. 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。
 5. 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ウィンベルの受注実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年12月31日）における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		販売高（千円）	前年同期比（%）
日本	減速装置	22,498,700	45.4
	メカトロニクス製品	3,108,054	1.2
北米	減速装置	2,450,419	19.8
	メカトロニクス製品	1,539,777	16.8
欧州	減速装置	7,494,333	—
	メカトロニクス製品	2,530,805	—
合 計		39,622,090	80.9

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	当第3四半期連結累計期間	
	販売高（千円）	割合（%）
株式会社羽根田商会	4,151,622	10.5

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
4. 当社グループの報告セグメントは、所在地別（日本、北米、欧州）に区分しております。当連結会計年度より欧州セグメント実績を追加しているため、前年同期との比較は表示しておりません。
5. 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。
6. 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ウィンベルの販売実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。

(2) 海外売上高

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)における海外売上高は、次のとおりであります。

	欧州	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	9,953,290	3,970,044	5,435,604	19,358,939
II 連結売上高(千円)	—	—	—	39,622,090
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	25.1	10.0	13.7	48.9

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域
 (1) 欧州……ドイツ
 (2) 北米……米国
 (3) その他の地域……中国、韓国、台湾、オセアニア
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。